



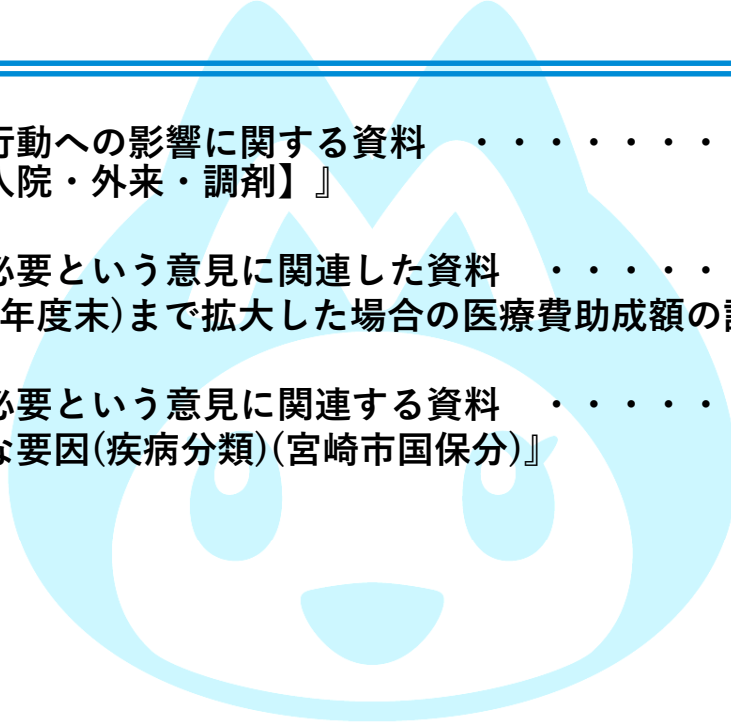
宮崎市子ども医療費助成制度あり方検討会 資料集
【令和7年3月25日追加分】

SMILE
MIYAZAKI

令和7年3月25日 時点版

目次

- 1 子ども医療費助成の受診行動への影響に関する資料 P3
『医療費助成額の推移【入院・外来・調剤】』
- 2 助成額などの試算提示が必要という意見に関連した資料 P5
『助成対象を高校生(18歳年度末)まで拡大した場合の医療費助成額の試算』
- 3 受診理由が今後の議論で必要という意見に関連する資料 P7
『医療機関を受診した主な要因(疾病分類)(宮崎市国保分)』

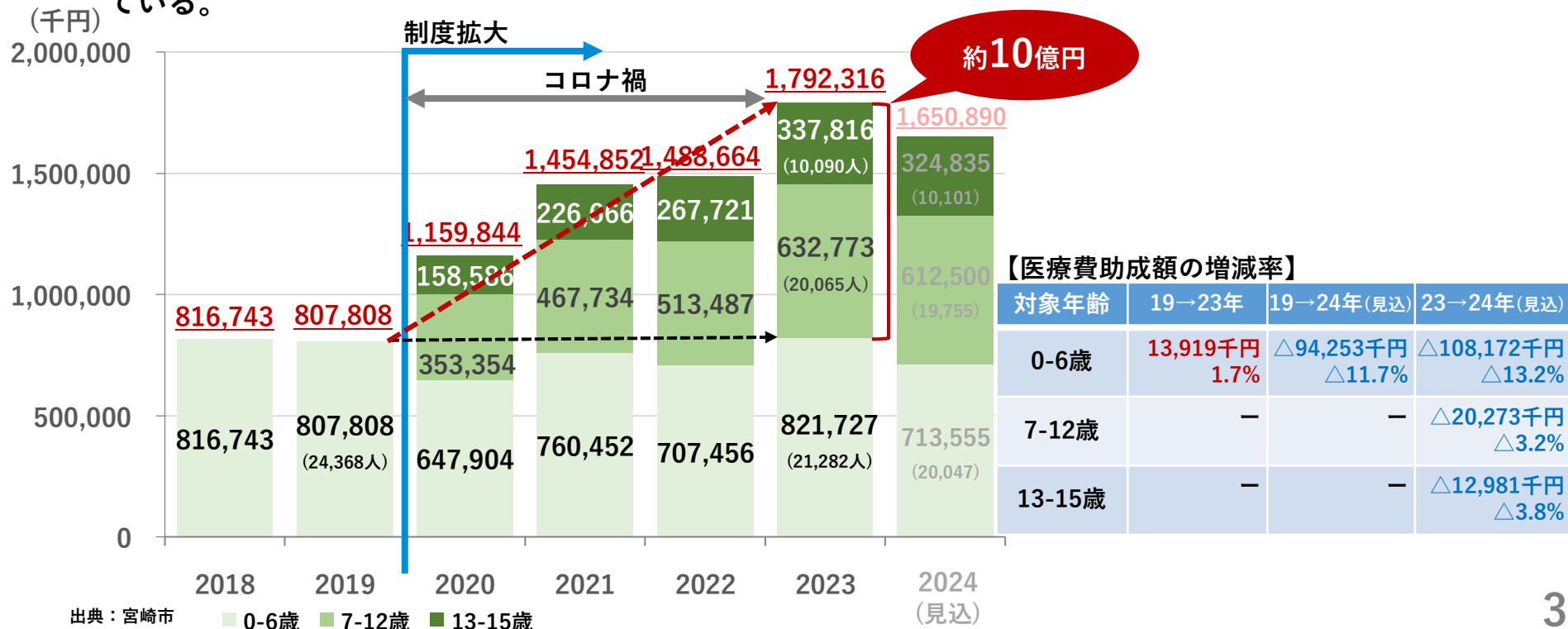


SMILE
MIYAZAKI

1 子ども医療費助成の受診行動への影響に関する資料

『医療費助成額の推移【入院・外来・調剤】』

- ・制度拡大の開始時期とコロナ禍の時期が重なったことに加え、国による加算や診療報酬改定など様々な要因が影響しているものの、2023年度の医療費助成額は2019年度と比較して**約10億円増加**している。
- ・子どもの医療費助成に関する政策評価研究において、助成制度が受診行動に影響を与えることが示唆されている。



【医療費助成額の増減率】

対象年齢	19→23年	19→24年(見込)	23→24年(見込)
0-6歳	13,919千円 1.7%	△94,253千円 △11.7%	△108,172千円 △13.2%
7-12歳	-	-	△20,273千円 △3.2%
13-15歳	-	-	△12,981千円 △3.8%

1 子ども医療費助成の受診行動への影響に関する資料

『医療費助成額の推移【入院・外来・調剤】』

- ・当初予算の①扶助費全体、②一般財源に占める子ども医療費助成額(決算)の割合は拡大している。

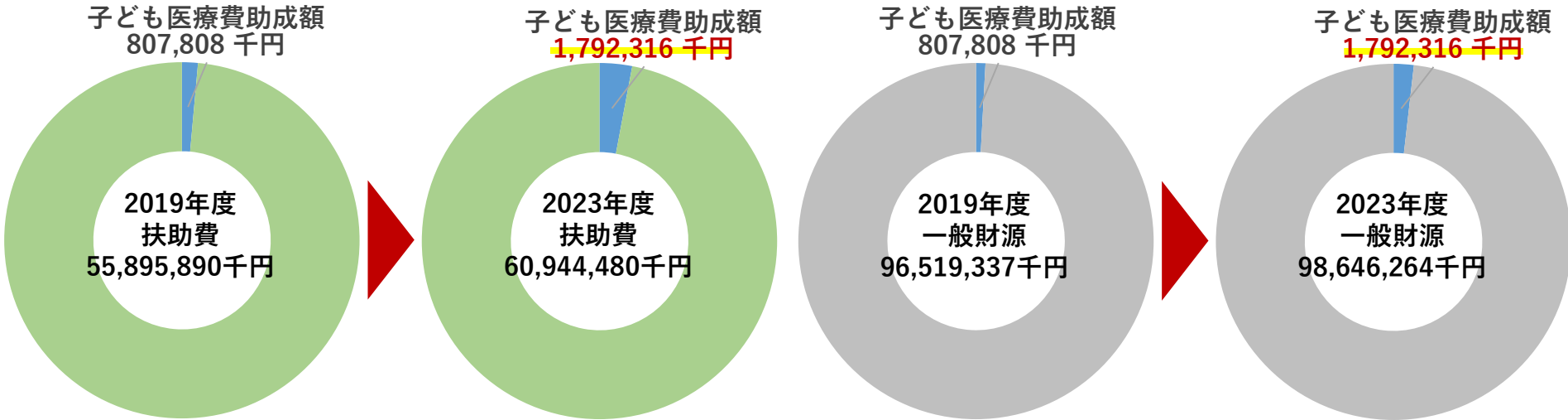
【子ども医療費助成額(決算)との比較】

①扶助費全体

19年度_1.4% ➤ 23年度_**2.9%**

②一般財源

19年度_0.8% ➤ 23年度_**1.8%**



2 助成額などの試算提示が必要という意見に関連した資料

『助成対象を高校生(18歳年度末)まで拡大した場合の医療費助成額の試算』

【試算の条件】

- ・対象者数は、0-6歳21,282人、7-12歳20,065人、13-15歳10,090人、16-18歳9,420人、計60,857人。
- ・2023年度の助成件数、助成額を基準とし、16-18歳と13-15歳が同程度の受診であると仮定。
- ・助成内容は、0-15歳は現行制度を維持し、16-18歳は7-15歳と同じ自己負担額を設定。

【試算の留意事項】

- ・次頁に示す試算は、宮崎市子ども医療費助成制度あり方検討会における検討資料として作成したものであり、現時点での決定事項は一切含まれていない。

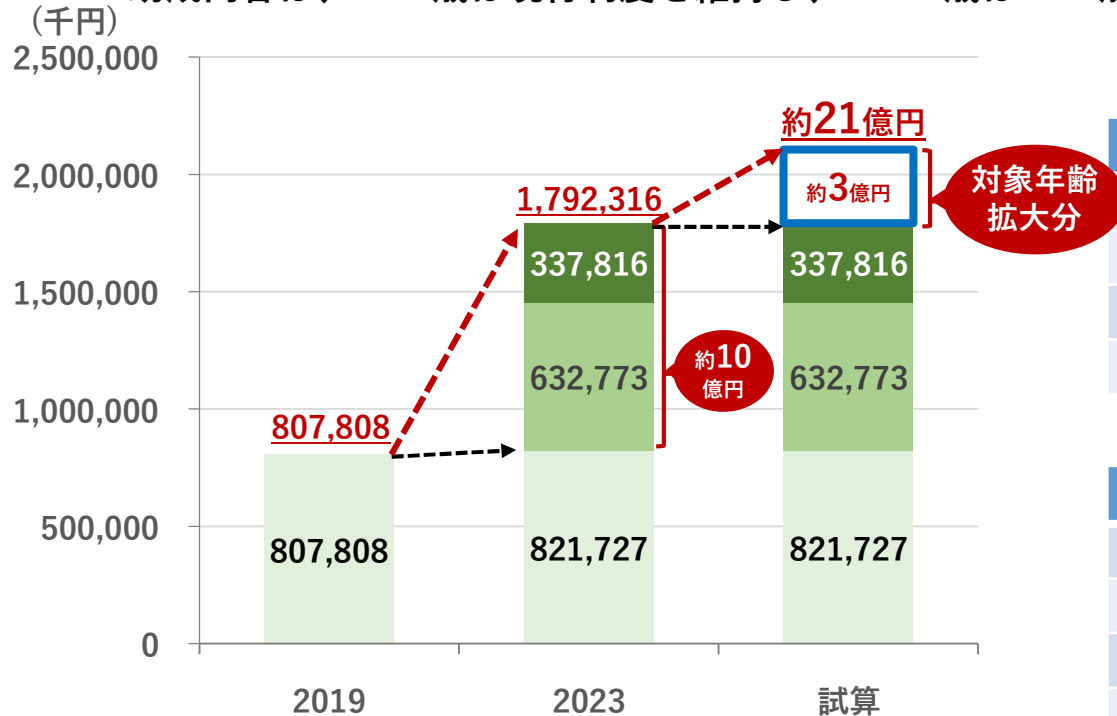
あくまで今回の検討のための素材として活用いただくことを目的に作成した。

2 助成額などの試算提示が必要という意見に関連した資料

『助成対象を高校生(18歳年度末)まで拡大した場合の医療費助成額の試算』

【試算の条件】

- ・対象者数は、0-6歳21,282人、7-12歳20,065人、13-15歳10,090人、16-18歳9,420人、計60,857人。
- ・2023年度の助成件数、助成額を基準とし、16-18歳と13-15歳が同程度の受診であると仮定。
- ・助成内容は、0-15歳は現行制度を維持し、16-18歳は7-15歳と同じ自己負担額を設定。



【現行の助成内容】

対象年齢	入院	通院	調剤
0-6歳	無料	無料	無料
7-12歳	無料	月200円/医療機関	無料
13-15歳	無料	月200円/医療機関	無料
16-18歳	対象外		

【(仮)試算用助成内容】

対象年齢	入院	通院	調剤
0-6歳	無料	無料	無料
7-12歳	無料	月200円/医療機関	無料
13-15歳	無料	月200円/医療機関	無料
16-18歳	無料	月200円/医療機関	無料

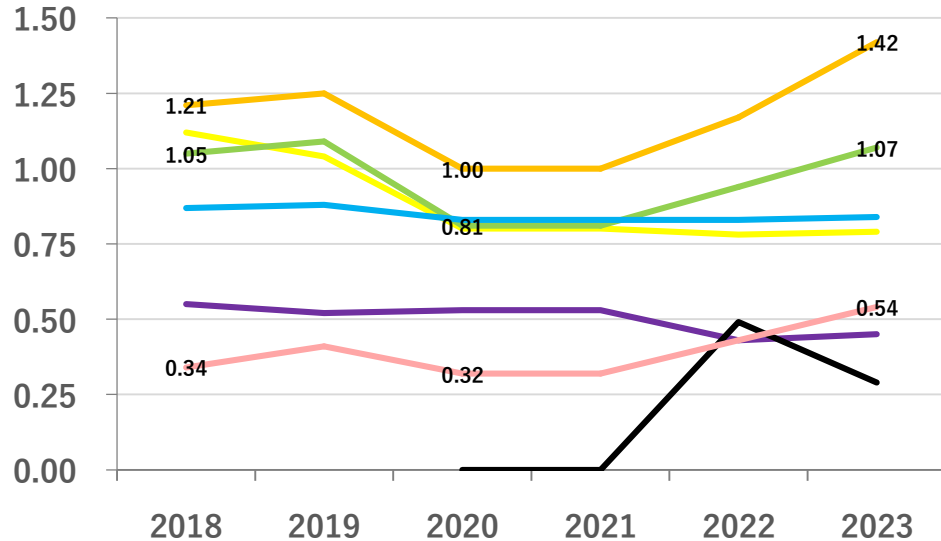
3 受診理由が今後の議論で必要という意見に関連する資料 『医療機関を受診した主な要因(疾病分類)(宮崎市国保分)』

※疾病分類は、宮崎市国保のデータから各年度上位5つを抽出した。

※下表の数値は受給者あたりのレセプト件数。

- ・風邪・アレルギー・皮膚症状などが多くを占める傾向にある。
- ・「喘息」、「その他の急性上気道感染症」、「急性気管支炎及び急性細気管支炎」などが増加傾向にある。

0-6歳(未就学児)



疾病分類	18	19	20	21	22	23
喘息	1.21	1.25	1.00	1.00	1.17	1.42
アレルギー性鼻炎	1.12	1.04	0.80	0.80	0.78	0.79
その他の急性上気道感染症	1.05	1.09	0.81	0.81	0.94	1.07
皮膚炎及び湿疹	0.87	0.88	0.83	0.83	0.83	0.84
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	0.55	0.52	0.53	0.53	0.43	0.45
その他の特殊目的用コード(コナ)	—	—	0.00	0.00	0.49	0.29
急性気管支炎及び急性細気管支炎	0.34	0.41	0.32	0.32	0.43	0.54
参考(疾病全体)	8.78	8.84	7.06	7.45	8.11	9.11

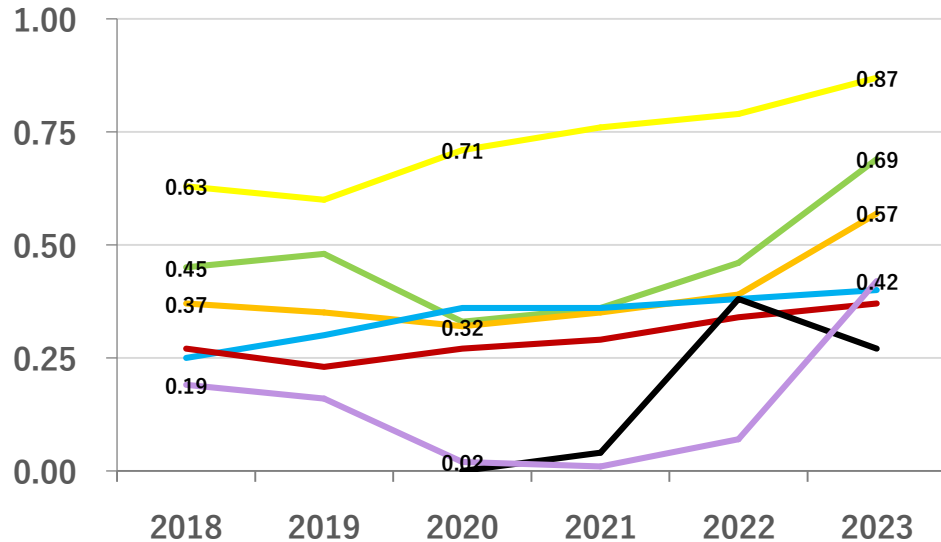
3 受診理由が今後の議論で必要という意見に関連する資料 『医療機関を受診した主な要因(疾病分類)(宮崎市国保分)』

※疾病分類は、宮崎市国保のデータから各年度上位5つを抽出した。

※下表の数値は受給者あたりのレセプト件数。

- ・0-6歳(未就学児)と同様の傾向にある。
- ・0-6歳(未就学児)とは、主な要因に「その他の損傷及びその他の外因の影響」が追加、「アレルギー性鼻炎」が増加傾向にあること等で異なる。

7-12歳(小学生)



疾病分類	18	19	20	21	22	23
アレルギー性鼻炎	0.63	0.60	0.71	0.76	0.79	0.87
その他の急性上気道感染症	0.45	0.48	0.33	0.36	0.46	0.69
喘息	0.37	0.35	0.32	0.35	0.39	0.57
皮膚炎及び湿疹	0.25	0.30	0.36	0.36	0.38	0.40
その他の損傷及びその他の外因の影響	0.27	0.23	0.27	0.29	0.34	0.37
その他の特殊目的用コード(コナ)	—	—	0.00	0.04	0.38	0.27
その他の呼吸器系の疾患	0.19	0.16	0.02	0.01	0.07	0.42
参考(疾病全体)	4.25	4.12	4.08	4.33	5.13	6.48

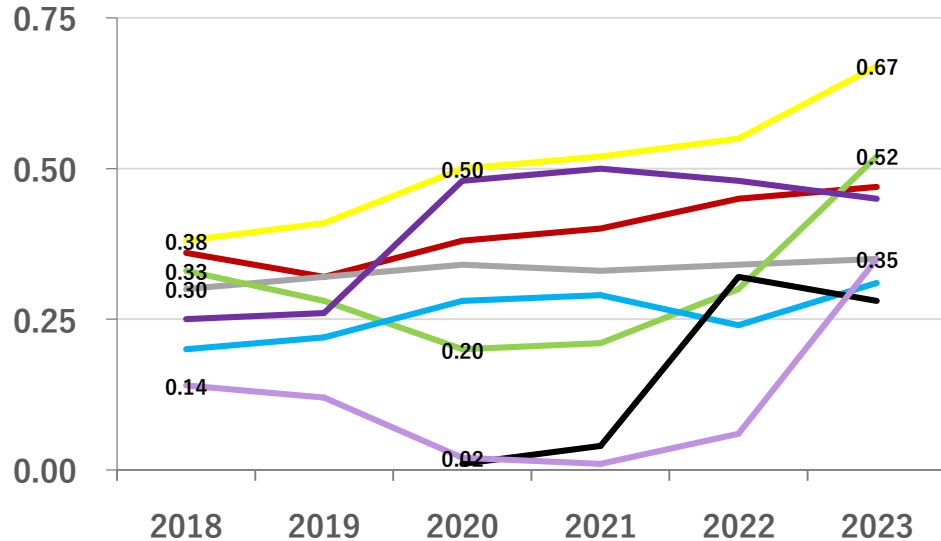
3 受診理由が今後の議論で必要という意見に関連する資料 『医療機関を受診した主な要因(疾病分類)(宮崎市国保分)』

※疾病分類は、宮崎市国保のデータから各年度上位5つを抽出した。

※下表の数値は受給者あたりのレセプト件数。

- ・7-12歳(小学生)と同様の傾向にある。
- ・7-12歳(小学生)とは、主な要因に「屈折及び調節の障害」が追加されること等で異なる。
- ・「屈折及び調節の障害」は横ばいで推移しているが、風邪やアレルギーは増加傾向にある。

13-15歳(中学生)



	18	19	20	21	22	23
アレルギー性鼻炎	0.38	0.41	0.50	0.52	0.55	0.67
その他の損傷及びその他の外因の影響	0.36	0.32	0.38	0.40	0.45	0.47
屈折及び調節の障害	0.30	0.32	0.34	0.33	0.34	0.35
その他の急性上気道感染症	0.33	0.28	0.20	0.21	0.30	0.52
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	0.25	0.26	0.48	0.50	0.48	0.45
皮膚炎及び湿疹	0.20	0.22	0.28	0.29	0.24	0.31
その他の特殊目的用コード(コト)	—	—	0.01	0.04	0.32	0.28
その他の呼吸器系の疾患	0.14	0.12	0.02	0.01	0.06	0.35
参考(疾病全体)	3.49	3.51	3.87	4.00	4.66	5.48